

# 2026年3月期 決算説明資料

---

2026年5月15日

# 目次

## 1. 2026年3月期 決算の概要

- (1) 連結決算ハイライト
- (2) 連結損益計算書
- (3) 連結営業収益の推移
- (4) 連結貸借対照表

## 2. 2027年3月期 連結業績予想 及び 配当予想について

- (1) 連結業績予想
- (2) 配当予想

## 3. Appendix

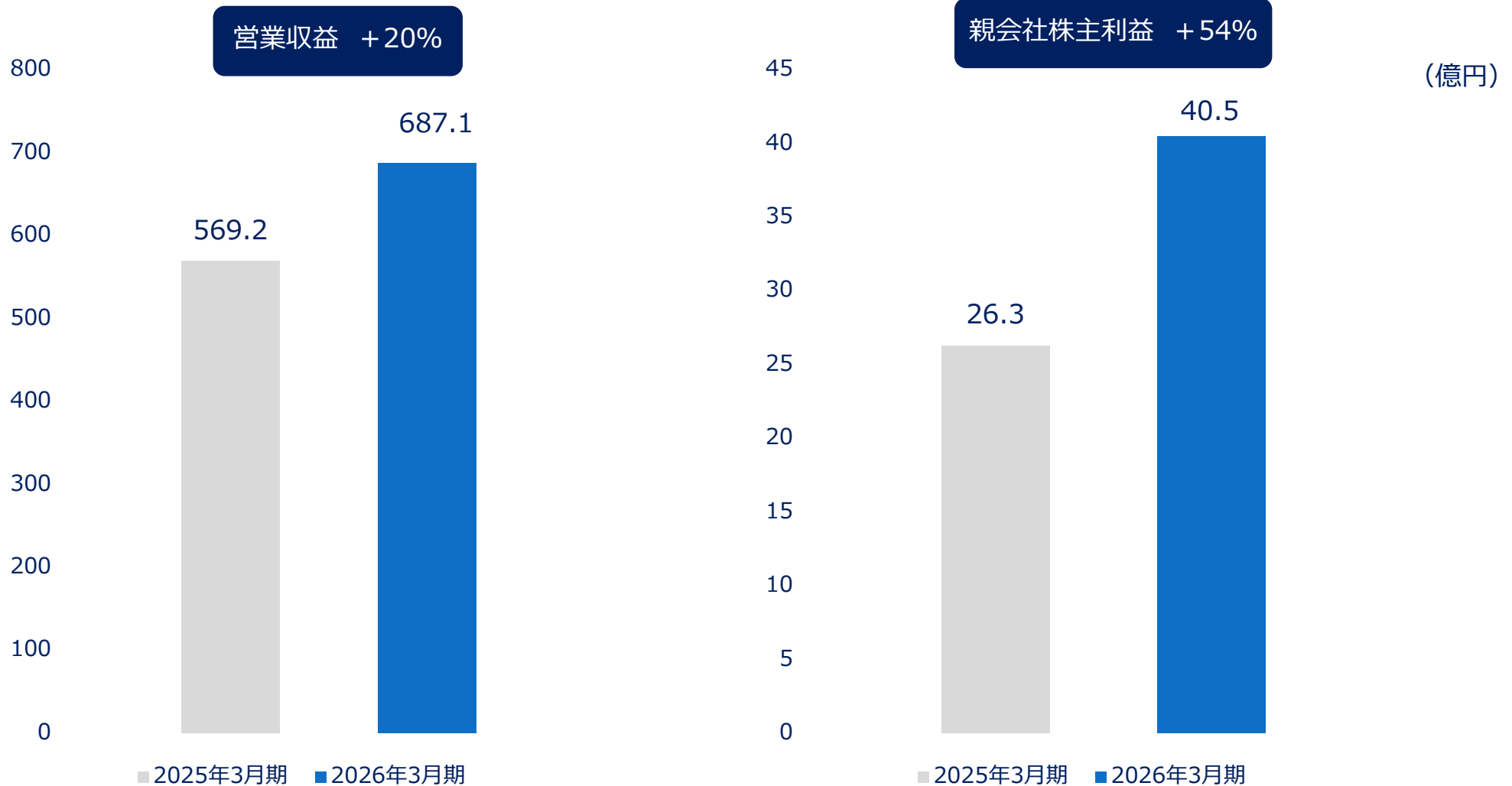
- (1) 当社の事業ポートフォリオの資産配分と収益性
- (2) 5か年経営数値目標（2022年3月期～2026年3月期）の振り返り
- (3) 主要事業の概要
  - ①不動産セグメント（中古マンション買取再販事業）
  - ②不動産セグメント（高齢者施設開発事業）
  - ③証券セグメント

## 1. 2026年3月期 決算の概要

## (1) 連結決算ハイライト（営業収益・利益）

✓ 増収・増益、通期での最高益（親会社株主利益）

- 証券事業は堅調
- 中古マンション買取再販事業は利益率が向上、高齢者施設開発事業は1施設を売却



## (2) 連結損益計算書

(億円)	2025年 3月期	2026年 3月期	増減率
営業収益	569	687	+20%
内、証券セグメント (*1)	158	164	+4%
内、不動産セグメント (*1)	411	522	+27%
営業利益	41	62	+50%
内、証券セグメント	21	24	+14%
内、不動産セグメント	29	47	+62%
内、調整額 (*2)	▲8	▲8	▲0%
経常利益	38	62	+61%
税前利益	38	62	+61%
親会社株主利益	26	40	+54%

- 証券セグメント  
受入手数料の拡大などが寄与し、増益

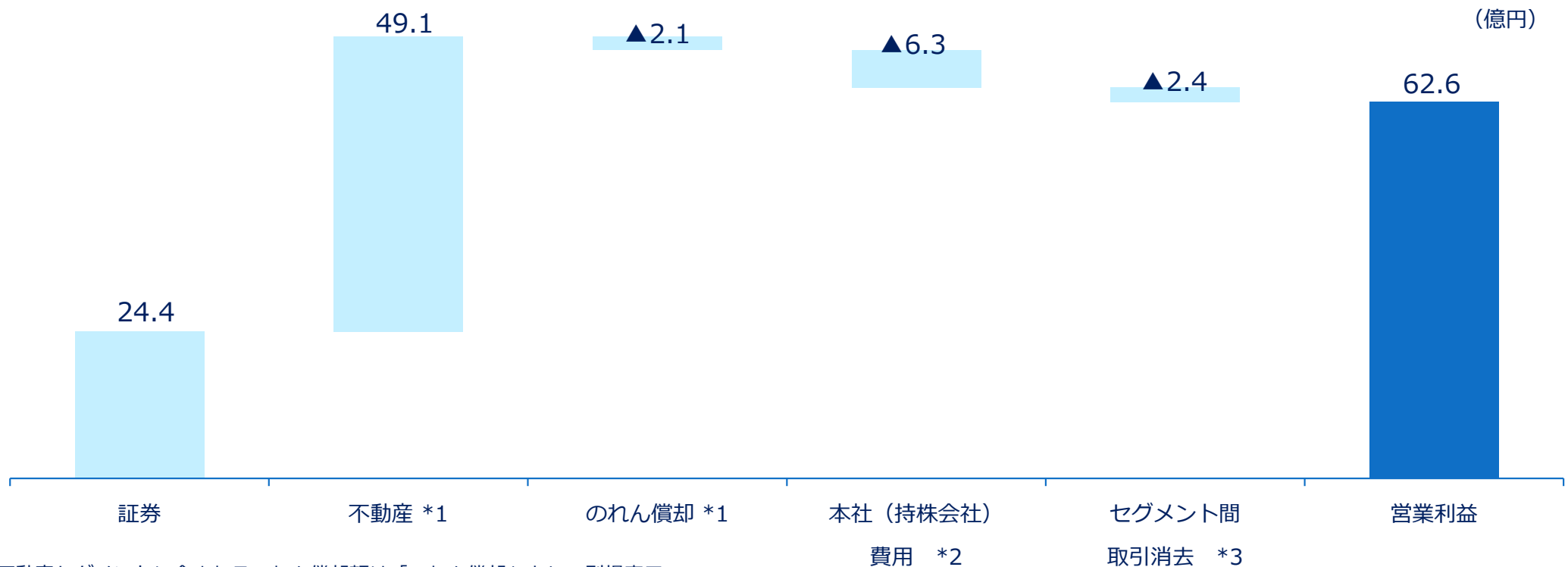
- 不動産セグメント  
中古マンション事業は販売戸数が減少するも、利益率が向上し大幅な増益  
高齢者施設開発事業では、1施設を売却

(\*1) 外部顧客に対する営業収益      (\*2) セグメント間取引消去と全社費用

## (2) 連結損益計算書（営業利益の構成要素）

- ✓ 連結営業利益 : 62億円（前年同期比 +50%）
- ✓ 証券セグメント利益 : 24億円（同 +14%）
- ✓ 不動産セグメント利益 : 49億円（のれん償却前）（同 +57%）

2026年3月期 営業利益の構成要素



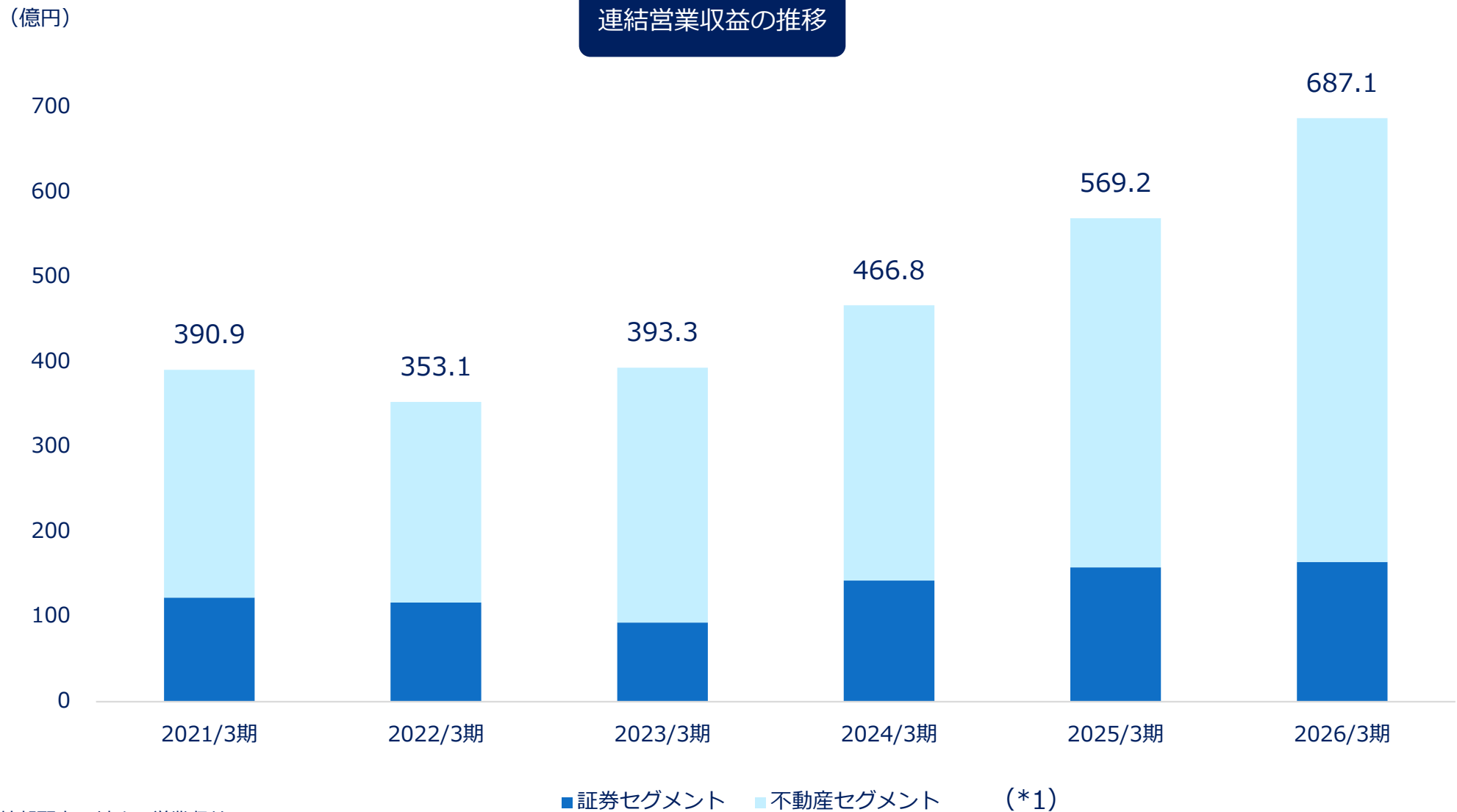
\*1 不動産セグメントに含まれるのれん償却額は「のれん償却」として別掲表示

\*2 本社（持株会社）費用は上場維持・グループ管理などの経費

\*3 セグメント間取引は主に、当社及びあかつき証券との社債関連手数料の消去

### (3) 連結営業収益の推移

✓ 順調に拡大、前年比20%増加



(\*1) 外部顧客に対する営業収益

## (4) 連結貸借対照表

✓ 自己資本 210億円

(億円)	2025年 3月期	2026年 3月期	増減額
流動資産	848	964	+115
固定資産	71	74	+2
(うち、投資有価証券)	37	44	+6
資産合計	920	1038	+118
流動負債	605	693	+88
固定負債	125	127	+1
負債合計	731	821	+89
自己資本	178	210	+31
自己資本比率	19.4%	20.2%	-

### <流動資産の主な増減内容 (+115億円) >

- 証券セグメント
  - 預託金 +108億円
  - 信用取引貸付金 +9億円
- 不動産セグメント
  - 販売用不動産 (主に中古マンション在庫) +39億円

### <流動負債の主な増減内容 (+88億円) >

- 証券セグメント
  - 預り金 +57億円
  - 有利子負債 ▲38億円
- 不動産セグメント
  - 有利子負債 +47億円

## 2. 2027年3月期 連結業績予想 及び 配当予想について

## (1) 連結業績予想

2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）については、事業は堅調に推移しているものの、中東情勢の緊張や金利水準の動向など今後想定され得る環境変化が当社グループの業績に与える影響を現在精査中であり、複数年度の経営数値目標と合わせて決定次第、速やかに開示する予定。

## (2) 配当予想

### ✓ 当社の配当方針（2019年3月期より適用）

- 財務の健全性と事業資金の確保に支障を来たさない限りにおいて、連結純資産配当率(DOE)で年間4%の水準を維持し、また、単年度の自己資本利益率(ROE)が4%を上回る場合には、その超過する部分の一部または全部を原資とし、追加の配当支払いまたは自社株買い等による株主還元を行う。

上記方針に基づき、2027年3月期の一株当たり配当予想を、DOE4%水準に相当する**通期30.0円（中間配当金15.0円、期末配当金15.0円）**に決定。

追加の株主還元については、今後の業績進捗状況、配当性向の水準等を総合的に勘案の上、検討する。

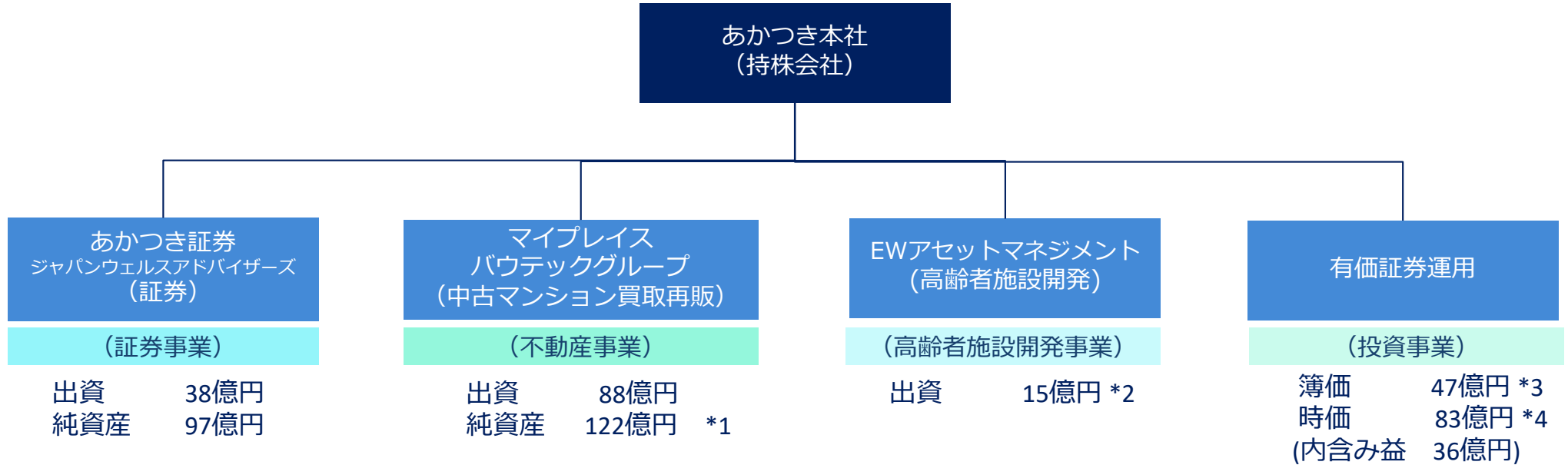
なお、2026年3月期においても、2025年5月15日の配当予想発表時点では通期予想25.0円（中間配当金12.5円、期末配当金12.5円）としていたが、2026年2月16日の第3四半期発表時において通期予想30.0円（中間配当金12.5円、期末配当金17.5円）に増配を決定。

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期
中間配当	9.5円	9.5円	9.5円	11.0円	12.5円	15.0円
期末配当	8.5円	9.5円	11.5円	17.0円	17.5円	15.0円
年間配当	18.0円	19.0円	21.0円	28.0円	30.0円	30.0円
DOE (%)	4.0%	4.1%	4.2%	5.0%	4.7%	—
ROE (%)	7.2%	5.5%	16.7%	15.5%	20.8%	—
配当性向 (%)	55.0%	74.7%	25.4%	32.3%	22.4%	—

### 3. Appendix

# (1) 当社の事業ポートフォリオの資産配分と収益性

## ✓ 事業ポートフォリオの資産配分(2026年3月期末時点)



## ✓ 事業ポートフォリオの収益性

ROE (%)、当期純利益 (億円)

		2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
あかつき証券 ジャパンウェルズアドバイザーズ	ROE	6%	2%	20%	20%	19%
	当期純利益	3.4	1.7	13.6	16.0	17.0
マイプレイス バウテックグループ	ROE	19%	16%	15%	19%	24%
	当期純利益 *1	15.7	14.0	15.0	20.8	28.3

\*1 グループ内の高齢者施設開発事業への投資に対する利益の一部を含む。

\*2 主にあかつき本社からの出資額

\*3 あかつき本社、あかつき証券、マイプレイス及びあかつきキャピタルからの投資額を含む

\*4 出資先からの評価レポート等に基づく時価評価額

## (2) 5か年経営数値目標（2022年3月期～2026年3月期）の振り返り

- ✓ 5か年経営数値目標(※1)で2026年3月期の株主資本を（配当・自己株式取得等による株主還元前で）230億円とすることを掲げたが、2026年3月期で248億円となり、目標を達成した。



※1：2021年11月15日発表、2023年5月15日に見直しを発表

※2：累積株主還元額 = 配当 + 自己株式の取得 - 自己株式の処分（上記期間において、新株発行は行っていない。）

## (2) 5か年経営数値目標（2022年3月期～2026年3月期）の振り返り

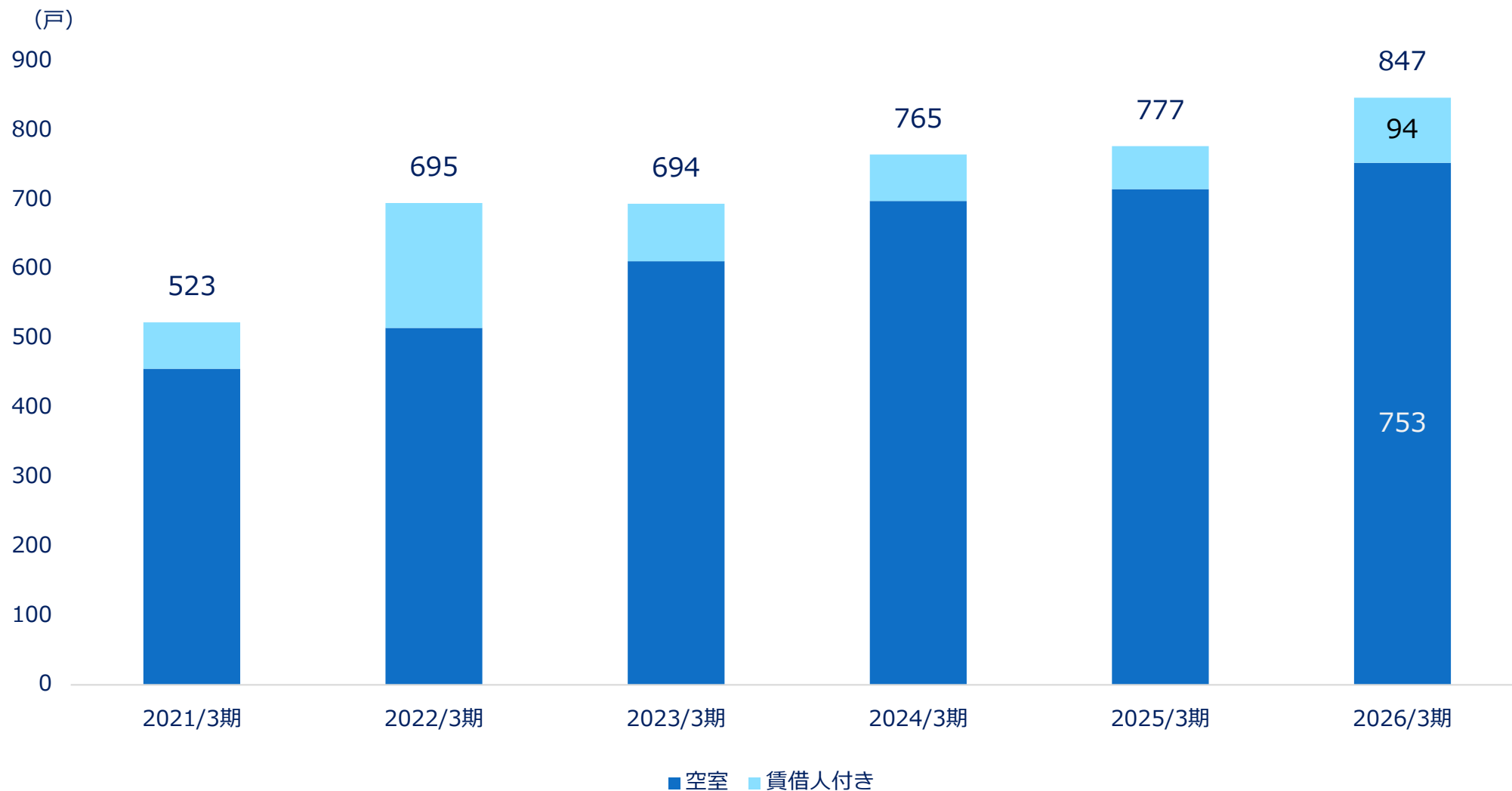
### ✓ 主要グループ会社の係数目標

	2026年3月期 実績	2026年3月期 目標
証券ビジネス (あかつき証券グループ)	預り資産：8038億円 親会社株主利益：17億円	預り資産：7000億円 親会社株主利益：15億円
不動産ビジネス (株)マイプレイス・(株)バウテックグループ)	販売戸数：880戸 親会社株主利益：28億円	販売戸数：1000戸 親会社株主利益：20億円
不動産ビジネス (EWアセットマネジメント(株))	累計開発件数：13件 ※稼働物件の取得2件含む	累計開発件数：15件

## ①不動産セグメント（中古マンション買取販売事業） <マイプレイス・ハウテックグループ>

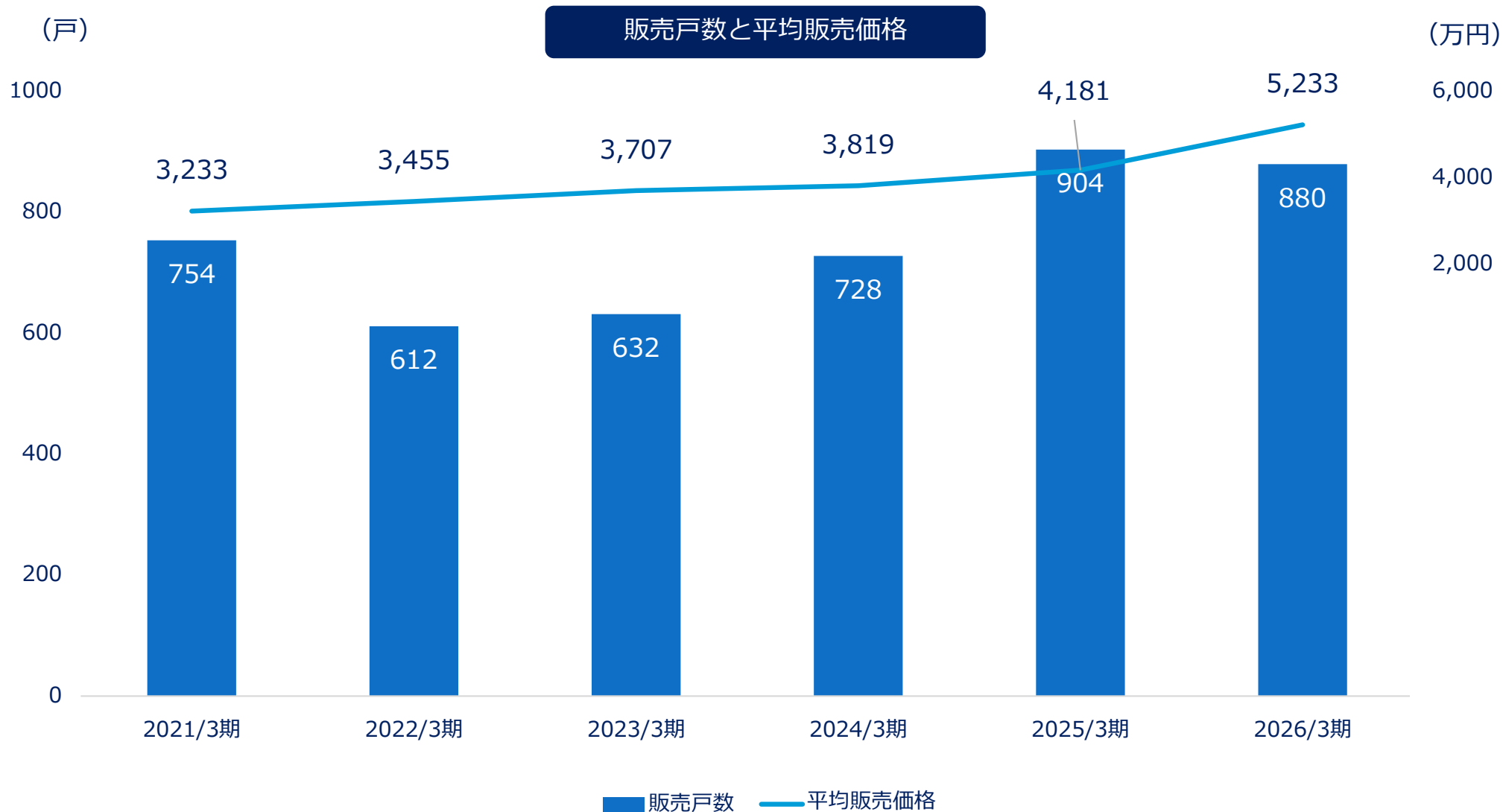
- ✓ 仕入戸数は順調に増加。
  - 営業体制や物件査定力を継続して強化

仕入戸数



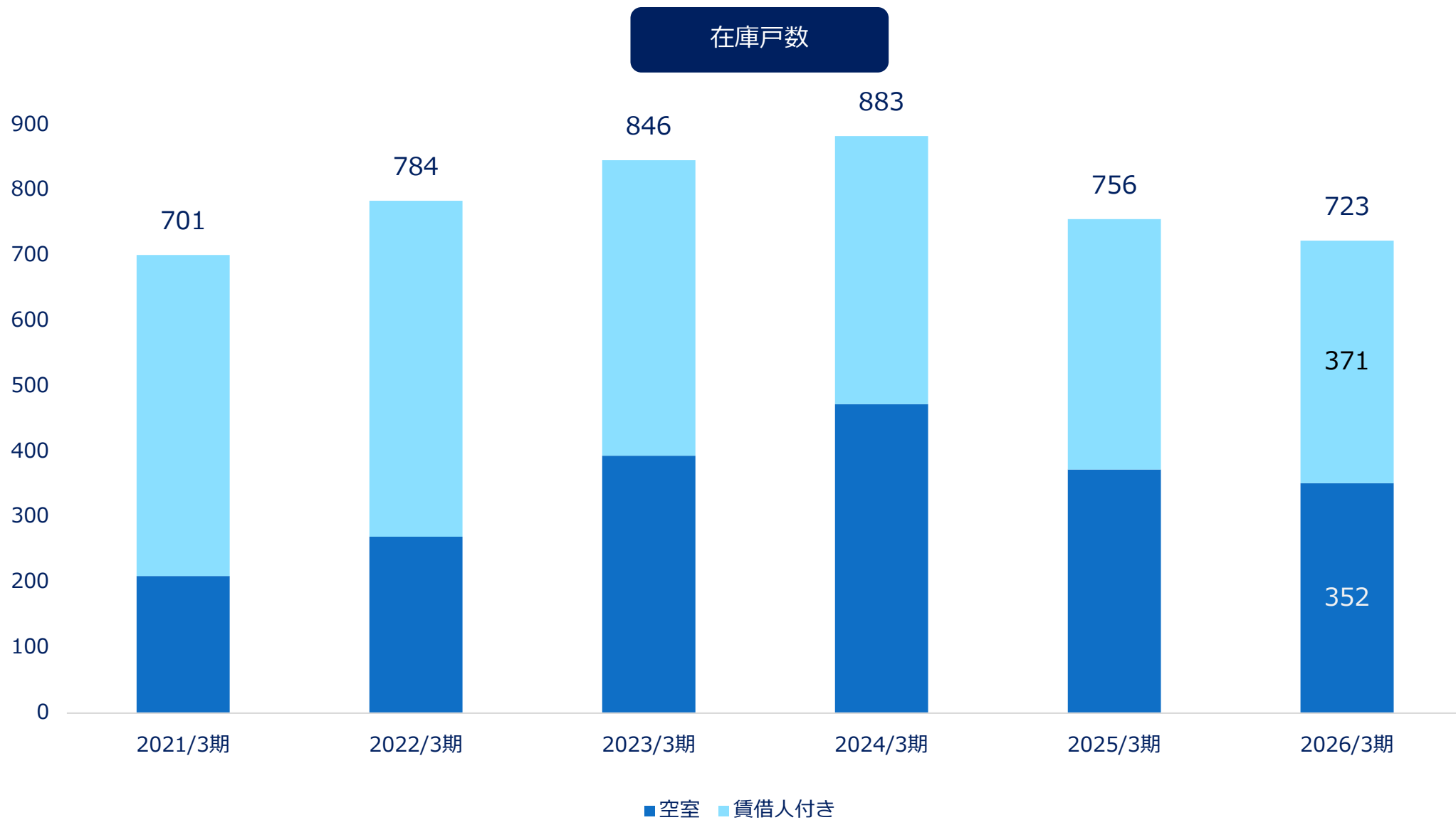
## ①不動産セグメント（中古マンション買取販売事業） <マイプレイス・ハウテックグループ>

- ✓ 前期販売増加に伴い、当期首在庫が減少したことにより、今期の販売戸数は減少
- ✓ 平均販売価格は上昇傾向。
- ✓ 5か年経営数値目標（2022年3月期～2026年3月期）の販売戸数は1000戸



## ①不動産セグメント（中古マンション買取販売事業） <マイプレイス・ハウテックグループ>

✓ 在庫戸数は前期末比で34戸減少（756戸→723戸）



#### ①不動産セグメント（中古マンション買取販売事業）

#### <マイプレイス・ハウテックグループ>

- ✓ 戸当たりの事業期間は209日間（前年同期比 ▲20日間）
  - 戸当たり事業期間の短縮により、資金効率は改善

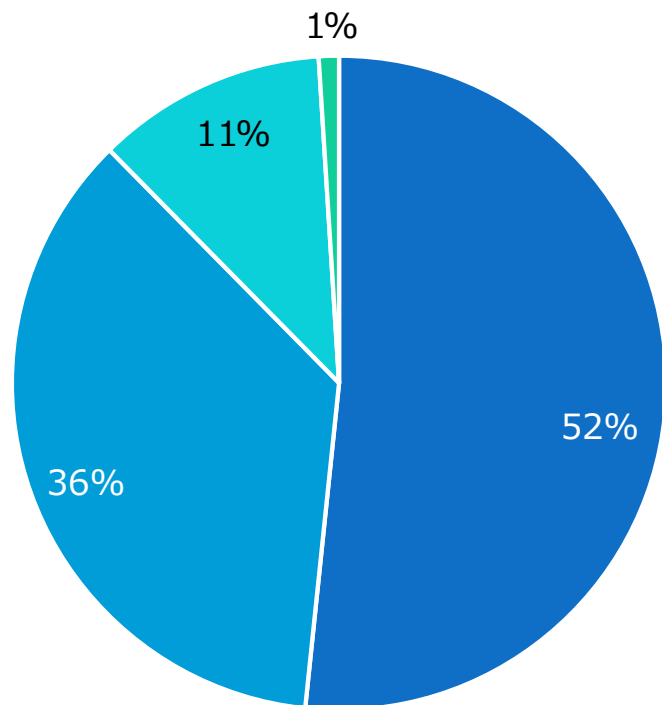
	合計	買い決済～着工 仕入 → 設計	着工～完工 施工	完工～売り決済 販売
2025年3月期	229日	16日	61日	152日
2026年3月期	209日	14日	64日	131日

## ①不動産セグメント（中古マンション買取販売事業） <マイプレイス・ハウテックグループ>

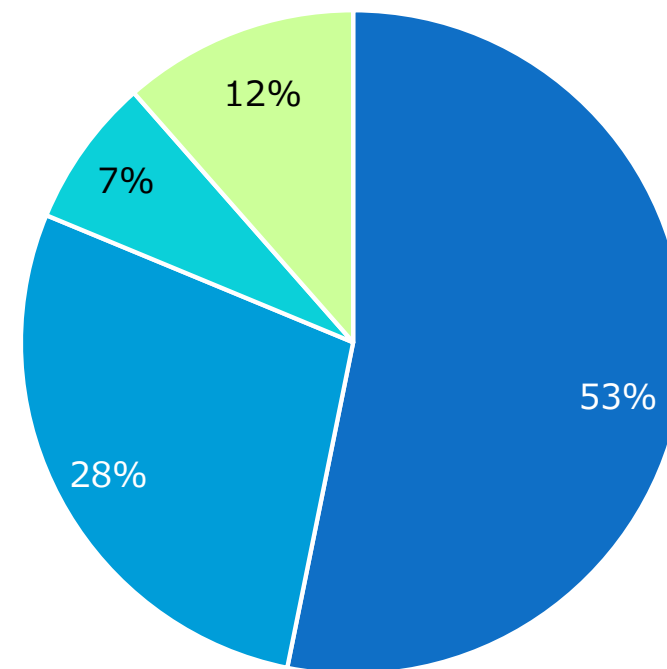
### ✓ エリア別販売戸数

- 販売価格の好調な東京に注力する一方で、大阪を中心とした関西エリアの開拓も順調

2025年3月期



2026年3月期

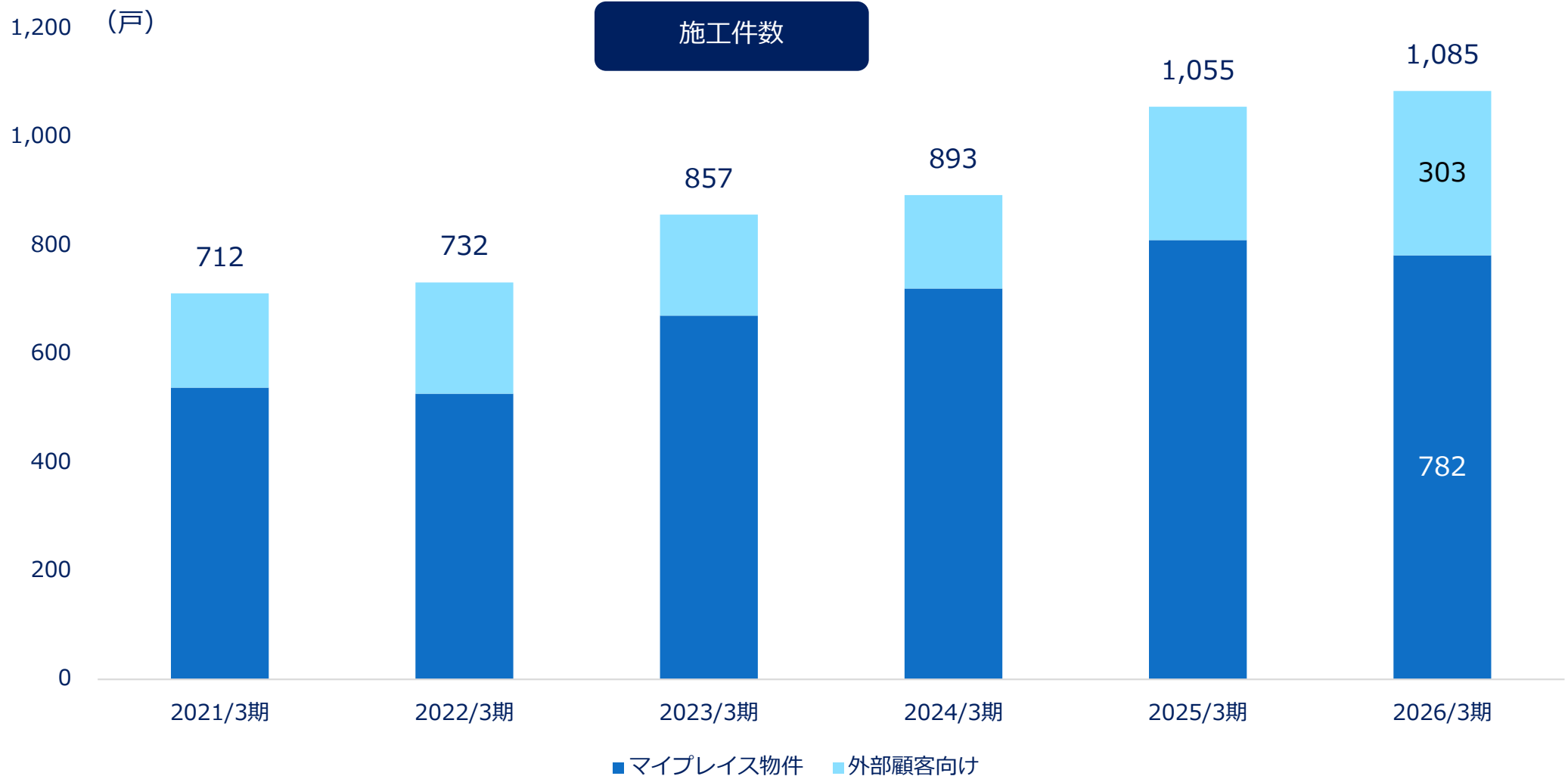


■ 東京都 ■ 神奈川県 ■ その他 関東エリア ■ 関西エリア

## ①不動産セグメント（中古マンション買取販売事業） <マイプレイス・ハウテックグループ>

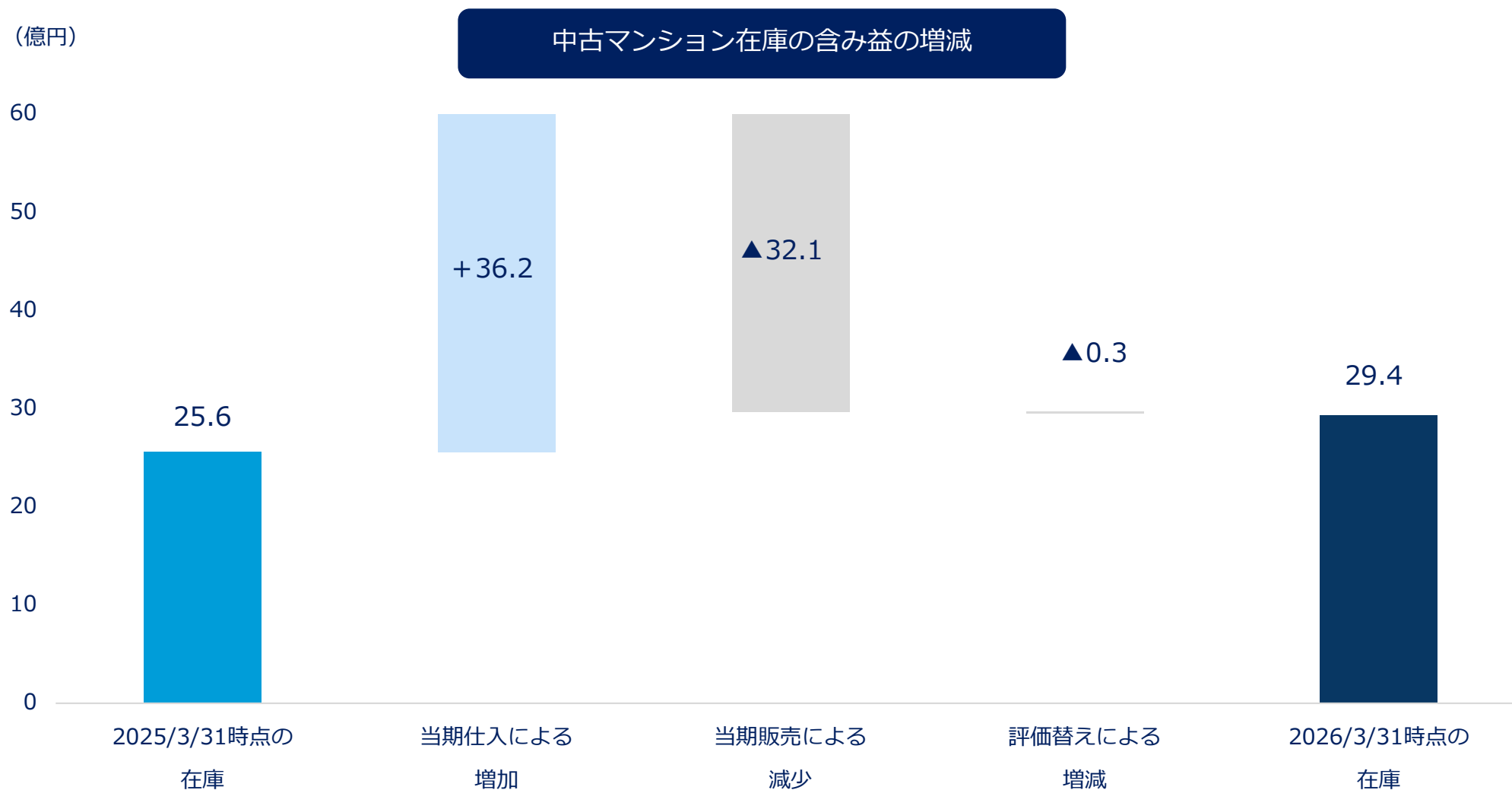
### ✓ リフォーム工事完工数

- ・ マイプレイス物件の工事は、当期首在庫の減少により工事完工数は減少
- ・ 一方で外部顧客向け工事が増えたため、全体の完工数は増加。
- ・ 今後は、外部顧客向け工事の受注を積極的に拡大する方針



## ①不動産セグメント（中古マンション買取販売事業） <マイプレイス・バウテックグループ>

✓ 在庫の含み益は29.4億円（空室15.0億円、賃貸人付き14.4億円）



※ 含み益は、社内評価額を基に算出

### (3) 主要事業の概要

#### ①不動産セグメント（高齢者施設開発事業） <EWアセットマネジメント>

- ✓ 熊本PJ①を2025年9月に売却し、営業収益、営業利益に大きく寄与。
- ✓ 福岡PJを2025年4月に開業し、以降は順調に入居者が増加中。
- ✓ 5か年経営数値目標（2022年3月期～2026年3月期）の累計開発件数は15件

	開発用地取得	開発	竣工	施設売却
福岡PJ（福岡県福岡市）稼働施設保有中	23/6 出資		25/3 竣工	
杉並PJ（東京都杉並区）稼働施設保有中	23/5 売買契約締結		24/2 竣工・出資	
熊本PJ②（熊本県熊本市）稼働施設保有中	23/3 出資		24/9 竣工	
京都PJ（京都府京都市）	出資		2022/8 竣工	2023/2 売却
西宮PJ（兵庫県西宮市）	出資		2022/7 竣工	2023/2 売却
熊本PJ①（熊本県熊本市）	出資		2022/5 竣工	2025/9 売却
横須賀PJ②（神奈川県横須賀市）	出資		2019/11 竣工	2023/5 売却
横須賀PJ①（神奈川県横須賀市）	出資			2020/1 売却
川越PJ（埼玉県川越市）	出資			2019/12 売却
神戸PJ（兵庫県神戸市）	出資			2019/1 売却
江戸川PJ（東京都江戸川区）	出資			2019/1 売却
枚方PJ②（大阪府枚方市）*1			出資	2023/10 売却
枚方PJ①（大阪府枚方市）*1			出資	2020/1 売却

\*1 稼働中施設を取得したため当社グループによる開発は行っていない。

#### ③証券セグメント <あかつき証券・ジャパンウェルスアドバイザーズ>

証券セグメントについては、24ページ以降に添付しているあかつき証券(株)とジャパンウェルスアドバイザーズ(株)との連結グループにおける決算説明資料を参照。

## あかつき証券(株) 2026年3月期 決算説明

本資料は、2026年3月期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。  
本資料は2026年3月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。  
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

## ◆2026年3月期 決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は8,038億円（前期末比+28.4%）と過去最高となり、特に金融商品仲介サービス部門の預り資産残高は5,224億円（前期末比+30.5%）と大幅に増加した。顧客からの入出金庫額（顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの）は784億円の純増となった。
- ✓ 営業収益は16,620百万円（前年同期比+3.6%）となった。受入手数料は、株券委託手数料および信託報酬の増加により1,955百万円（同+28.3%）増加した。一方で、トレーディング損益は7,016百万円（同△17.6%）と減収となった。
- ✓ 販売費・一般管理費は14,108百万円（前年同期比+2.0%）となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動する変動費は10,443百万円（同+0.7%）に、固定費は顧客利便性向上、商品拡充、コンプライアンス関連の新規システム投資等より3,665百万円（同+6.1%）と増加した。
- ✓ 営業利益は2,378百万円（前年同期比+269百万円 +12.8%）、経常利益は2,482百万円（同+369百万円 +17.5%）、当期純利益は1,705百万円（同+100百万円 +6.3%）と増収増益となった。

※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。

※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

## 1. 2026年3月期 決算（連結）について

## ◆ 営業損益の状況

- ✓ 営業収益は16,620百万円（前年同期比+578百万円 +3.6%）、営業利益は2,378百万円（同+269百万円 +12.8%）、当期純利益は1,705百万円（同+100百万円 +6.3%）となった。
- ✓ 営業利益は、2025年4月のトランプ関税により第1四半期は伸び悩んだものの、2025年6月からの好調なマーケット環境を背景に、第2四半期以降は順調に増加し、第4四半期は783百万円と過去最高を更新した。

（単位：百万円）

	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	16,042	16,620	3.6%	578
純営業収益	15,940	16,487	3.4%	547
販売費・ 一般管理費	13,830	14,108	2.0%	277
営業利益	2,109	2,378	12.8%	269
経常利益	2,113	2,482	17.5%	369
特別損益	△25	△9	-	16
税引前当期純利益	2,088	2,473	18.4%	385
法人税等合計	484	768	58.8%	284
当期純利益	1,604	1,705	6.3%	100

（単位：百万円）

2025年3月期				2026年3月期			
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
4,208	3,618	4,279	3,935	3,107	4,098	4,475	4,939
4,192	3,600	4,261	3,887	3,080	4,059	4,444	4,903
3,582	3,202	3,686	3,359	2,736	3,484	3,766	4,120
609	397	574	527	343	574	677	783
616	397	560	539	345	587	762	788
△0	△6	△4	△14	△0	△0	-	△9
615	391	556	525	345	587	762	778
201	24	178	79	127	177	233	229
413	366	378	445	217	409	528	549

※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

## ◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は、8,866百万円（前年同期比+1,955百万円 +28.3%）と増収となった。
- ✓ 株券委託手数料は5,133百万円（同+1,235百万円 +31.7%）、投資信託の募集・売出し手数料は1,953百万円（同+278百万円 +16.6%）と増加した。信託報酬は916百万円（同+354百万円 +63.0%）と、投資信託の預り資産残高1,481億円（前期末比+475億円）に比例し増加した。

（単位：百万円）

	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	6,911	8,866	28.3%	1,955

委託手数料の主な内訳				
株券	3,897	5,133	31.7%	1,235

募集・売出し手数料の主な内訳				
債券	153	134	△12.4%	△19
投資信託	1,675	1,953	16.6%	278

その他の受入手数料				
信託報酬	562	916	63.0%	354
アドバイザー報酬	35	0	△99.2%	△35

（単位：百万円）

2025年3月期				2026年3月期			
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
1,733	1,498	1,738	1,939	1,660	2,192	2,496	2,517

1,012	848	1,055	982	958	1,278	1,427	1,468
-------	-----	-------	-----	-----	-------	-------	-------

59	51	8	34	52	33	20	28
432	329	367	546	295	500	619	538

119	134	144	163	184	218	249	262
-	-	0	35	-	0	-	-

## ◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、7,016百万円（前年同期比△1,502百万円 △17.6%）と減収となった。
- ✓ 株券トレーディング損益は534百万円（同△260百万円 △32.8%）と減少。
- ✓ 債券等トレーディング損益は6,072百万円（同△1,330百万円 △18.0%）。外貨建債券の預り資産残高は2,031億円（前期末比+290億円）と順調に増加しているものの、仕組債非勧誘化の影響もあり減少した。

（単位：百万円）

	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株券	794	534	△32.8%	△260
債券・為替等	7,723	6,482	△16.1%	△1,241
（債券等）	7,403	6,072	△18.0%	△1,330
（為替等）	320	409	27.8%	89
合計	8,518	7,016	△17.6%	△1,502

（単位：百万円）

2025年3月期				2026年3月期			
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
249	180	224	140	83	170	189	90
2,087	1,793	2,165	1,678	1,237	1,500	1,590	2,152
2,023	1,721	2,064	1,593	1,161	1,421	1,443	2,045
63	72	100	84	75	79	146	107
2,336	1,973	2,390	1,818	1,321	1,671	1,780	2,243

## ◆部門別純営業収益推移

### 【ウェルスマネジメント部門】

- ✓ 部門収益は2,610百万円(前年同期比+61百万円 +2.4%)となった。主な内訳として、株式収益が1,527百万円(同+31.8%)、投資信託収益が456百万円(同+18.6%)、債券収益が364百万円(同△48.2%)となった。

### 【金融商品仲介サービス部門】

- ✓ 部門収益は13,763百万円(前年同期比+548百万円 +4.2%)となった。主な内訳として、投資信託収益が2,408百万円(同+32.4%)、株式収益が4,404百万円(同+14.8%)、債券収益が4,978百万円(同△17.7%)となった。

全部門の第4四半期純営業収益は4,903百万円と四半期ベースで過去最高となった。

(単位：百万円)

	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増加率	前年同期比 増加額
純営業収益	15,940	16,488	+3.4%	547
ウェルスマネジメント	2,549	2,610	+2.4%	61
金融商品仲介サービス	13,215	13,763	+4.2%	548
その他	176	111	△36.5%	△64

2025年3月期				2026年3月期			
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
4,192	3,600	4,261	3,887	3,080	4,059	4,444	4,903
692	601	633	622	628	651	666	663
3,461	2,975	3,575	3,202	2,427	3,378	3,742	4,215
38	23	51	62	24	28	35	23

- ※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。
- ※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。
- ※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2025年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

## ◆販売費・一般管理費

- ✓ 販管費は、14,108百万円（前年同期比+278百万円 +2.0%）と増加した。
- ✓ 主に顧客利便性向上、商品拡充、コンプライアンス関連の新規システム投資により固定費が209百万円増加し、さらにIFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費も68百万円増加した。

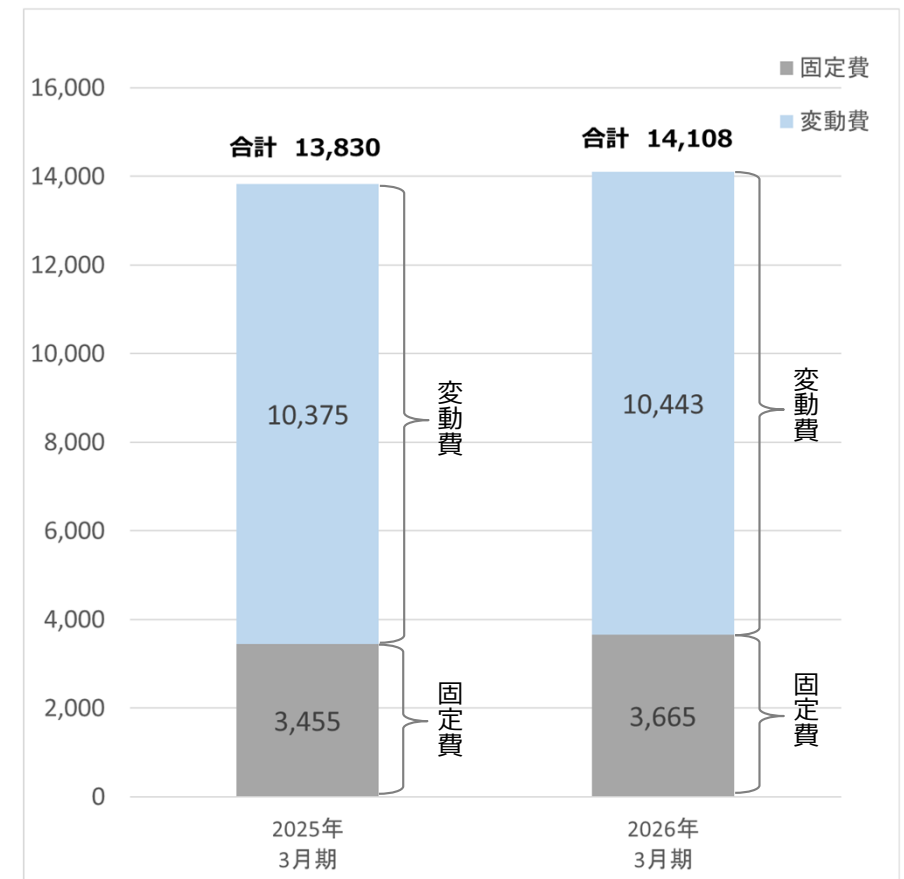
（単位：百万円）

	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	9,013	8,637	△4.2%	△376
人件費	3,272	3,762	15.0%	489
不動産関係費	424	457	7.7%	32
事務費	828	908	9.6%	79
減価償却費	109	133	21.5%	23
租税公課	92	102	10.8%	9
雑費その他	89	108	21.4%	19
販売費・一般管理費計	13,830	14,108	2.0%	277

（単位：百万円）

	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	3,455	3,665	6.1%	209
変動費	10,375	10,443	0.7%	68

（単位：百万円）



## ◆貸借対照表

- ✓ 資産は、短期借入金を圧縮したこと等により現金・預金が7,573百万円減少した一方、預託金が10,897百万円増加したこと等により、前期末より4,742百万円増加した。
- ✓ 負債は、預り金が5,769百万円増加した一方で、上記のとおり短期借入金が3,800百万円減少したこと等により、3,539百万円増加した。
- ✓ 純資産は、当期純利益により1,705百万円増加した一方で、剰余金の配当により500百万円減少したこと等で、9,742百万円（前期末比+1,203百万円）となった。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前年度末比 増減額
流動資産	42,729	47,254	4,525
現金・預金	10,860	3,287	△7,573
預託金	23,800	34,697	10,897
信用取引資産	4,682	5,568	886
その他流動資産	3,387	3,701	314
固定資産	1,473	1,690	217
資産合計	44,202	48,945	4,742

	2025年3月期	2026年3月期	前年度末比 増減額
流動負債	35,165	38,687	3,522
信用取引借入金	1,157	1,937	779
預り金	22,468	28,238	5,769
短期借入金	8,900	5,100	△3,800
受入保証金	800	849	49
その他流動負債	1,838	2,562	723
固定負債	442	450	7
特別法上の準備金	55	64	9
負債合計	35,663	39,202	3,539
純資産	8,539	9,742	1,203
株主資本	8,501	9,730	1,229
其他有価証券評価差額金	29	3	△26
新株予約権	9	9	-
負債純資産合計	44,202	48,945	4,742

## ◆自己資本規制比率の状況

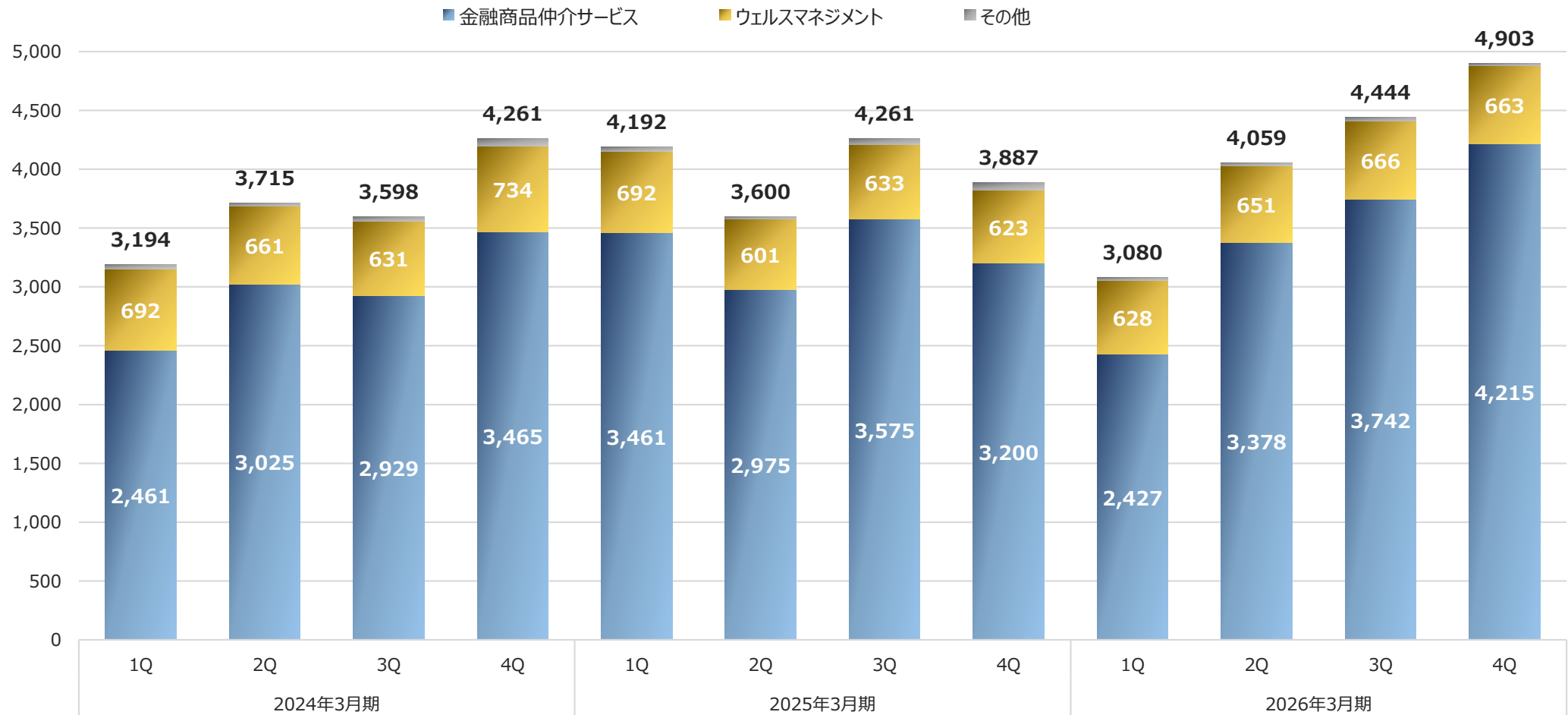
	2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
自己資本規制比率(%)	412.2	416.2	406.1	398.9	380.9	416.8	381.4	404.9	368.1	382.2	387.0	438.0
控除後自己資本	5,215	5,503	5,289	5,681	6,186	6,454	6,406	6,894	7,110	7,432	7,356	7,866
リスク相当額	1,265	1,322	1,302	1,424	1,623	1,548	1,679	1,702	1,931	1,944	1,900	1,795
市場リスク相当額	78	112	14	46	81	45	33	114	207	126	33	103
取引先リスク相当額	234	204	239	266	367	291	400	298	432	532	532	340
基礎的リスク相当額	952	1,005	1,048	1,110	1,174	1,211	1,245	1,289	1,291	1,284	1,334	1,351

## 2. 業績の推移について

## ◆純営業収益の推移（部門別）

✓ 当第4四半期における当社の純営業収益は、4,903百万円（前四半期比+1,016百万円）と過去最高となった。

(百万円)

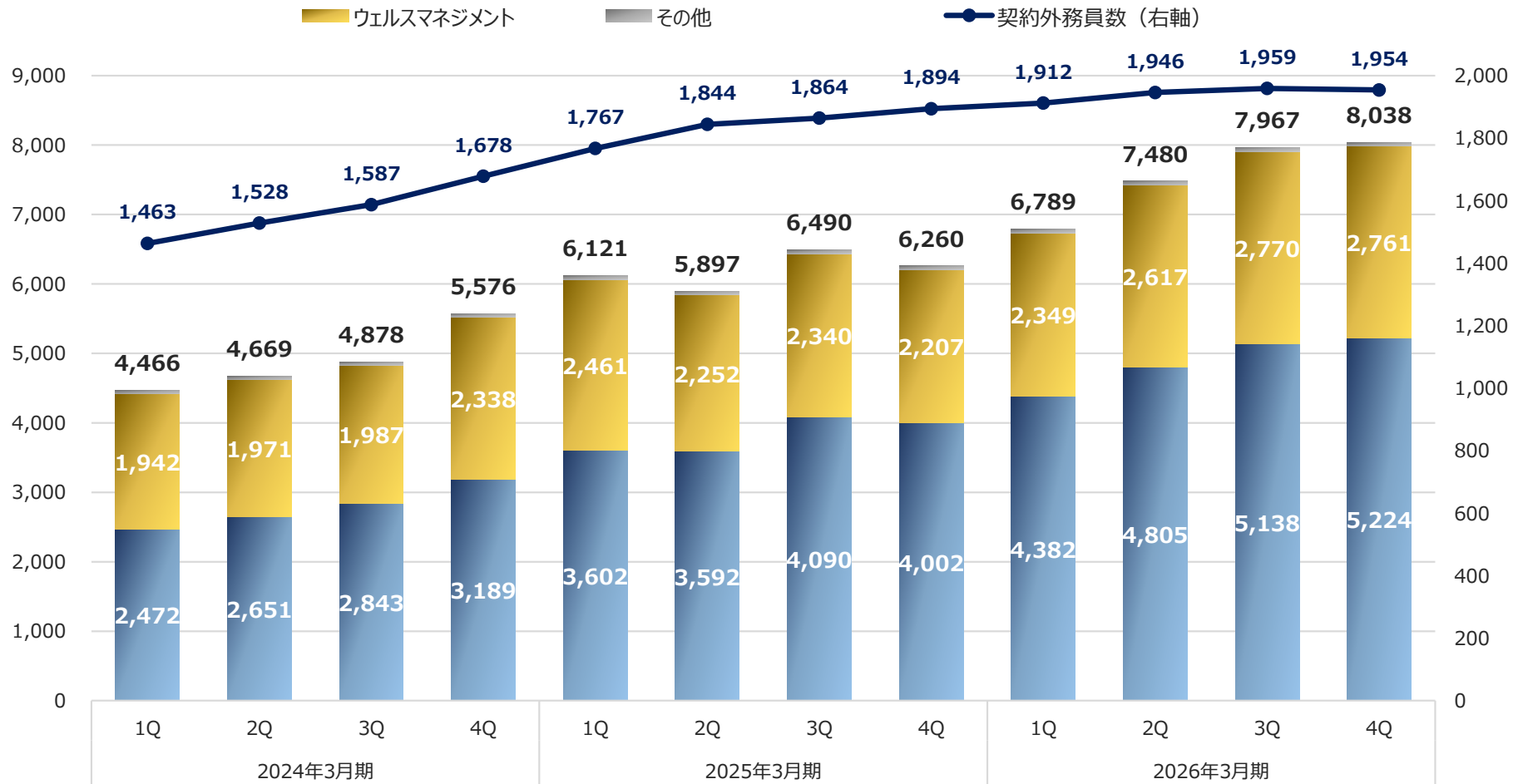


- ※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。
- ※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。
- ※ 外貨建て預金の運用収益は、従来、営業外収益の受取利息に計上していましたが、2026年3月期より、営業収益の金融収益に計上することとしました。2024年3月期については、当該表示方法の変更に伴い表示の組替え後の金額を記載しております。

## ◆ 預り資産残高の推移（部門別）

✓ 預り資産残高は、8,038億円（前四半期比+487億円）と過去最高となった。

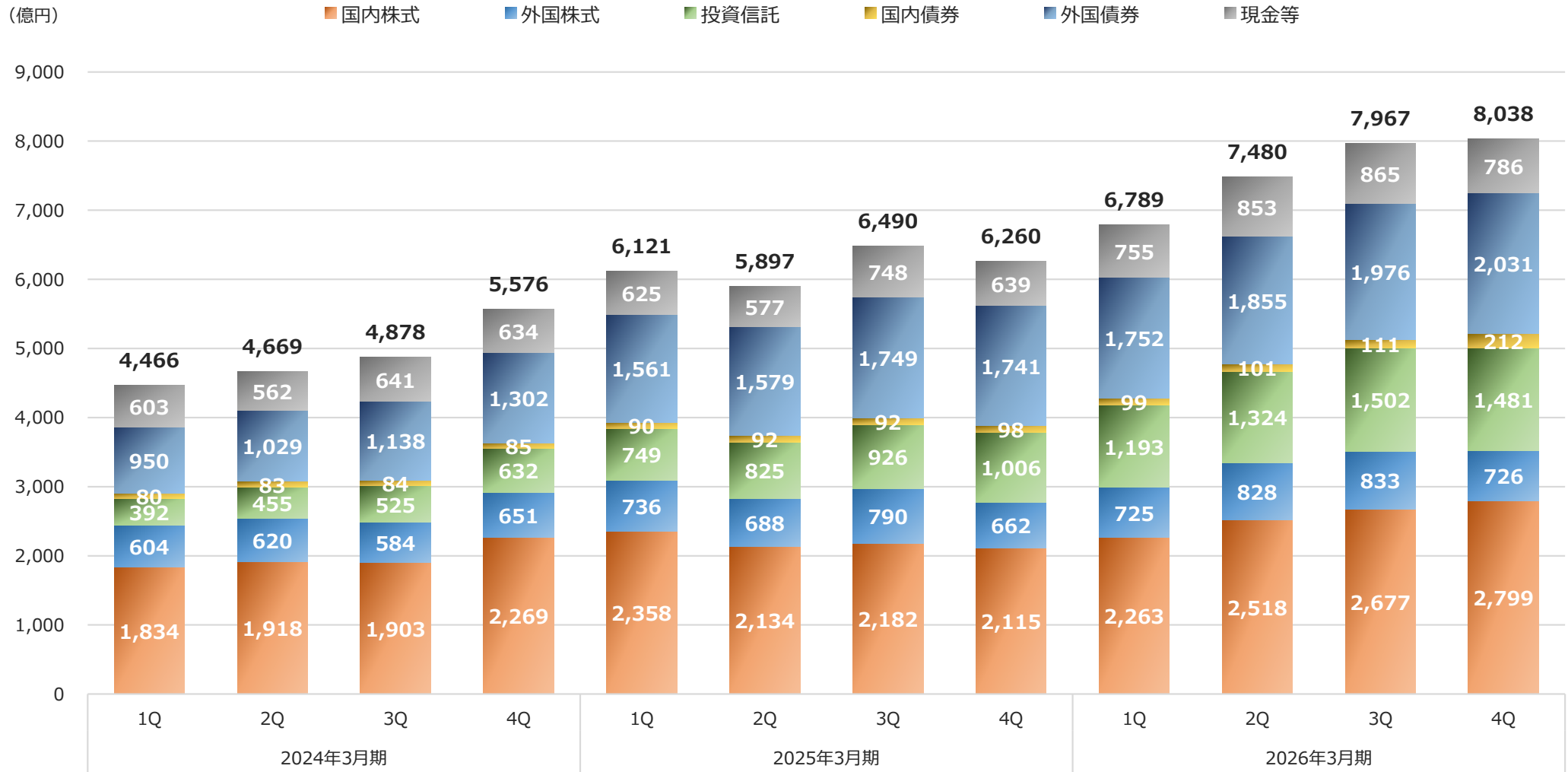
（億円）



- ※ 2024年4月付の組織改編、組織名称変更に伴い、「リテール部門」を「ウェルスマネジメント部門」、「IFA部門」を「金融商品仲介サービス部門」に変更し、部門間の内訳についても本変更を反映しております。
- ※ 金融商品仲介サービス部門とウェルスマネジメント部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。
- ※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。
- ※ 2025年10月より、一部顧客の預かり資産の区分をウェルスマネジメント部門から金融商品仲介サービス部門に変更しました。当該変更に従い、2025年10月以前の数値も遡及して変更しております。

## ◆ 預り資産残高の推移（商品別）

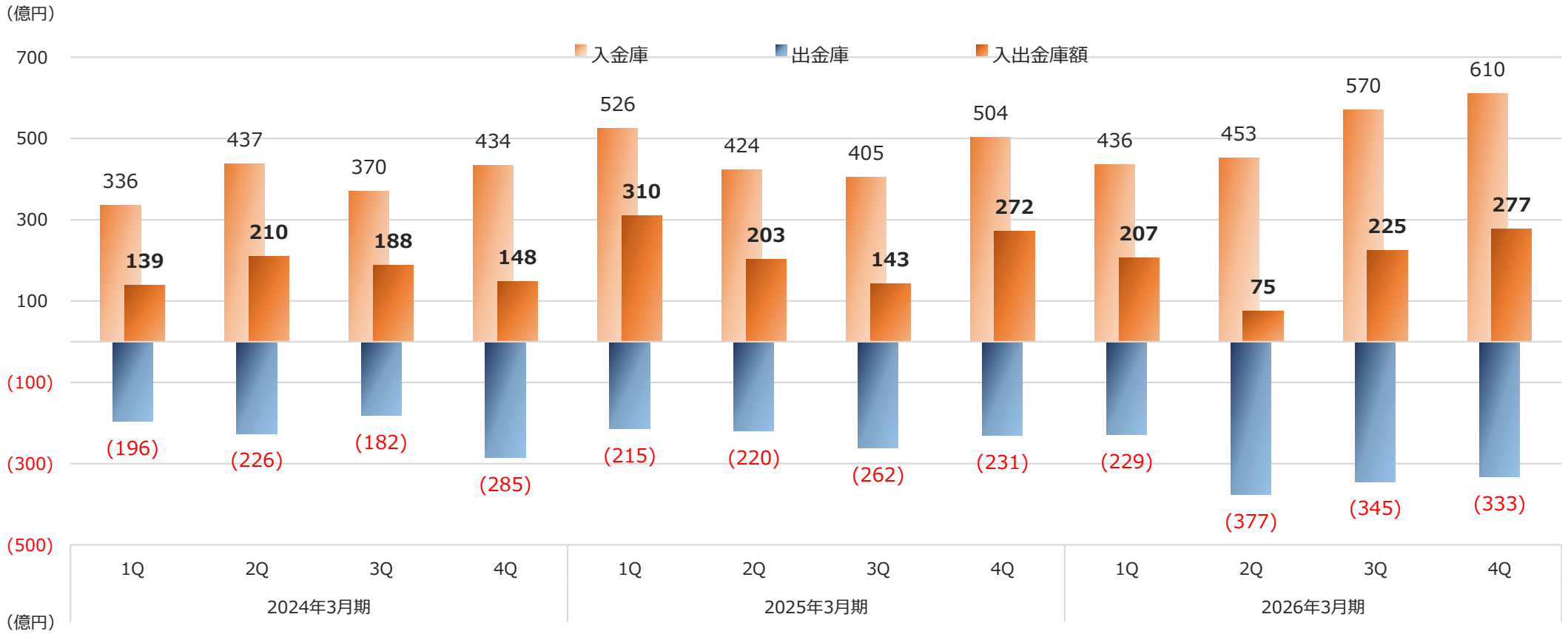
✓ 商品別の預り資産残高は、国内株式で2,799億円（前四半期比+122億円）、外国債券で2,031億円（同+55億円）と増加した。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

## ◆入出金庫額の状況

- ✓ 入出金庫額（顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの）は、当第4四半期で277億円の純増となった。金融商品仲介サービス部門の堅調な拡大に伴い、継続的に資金導入が図れている。

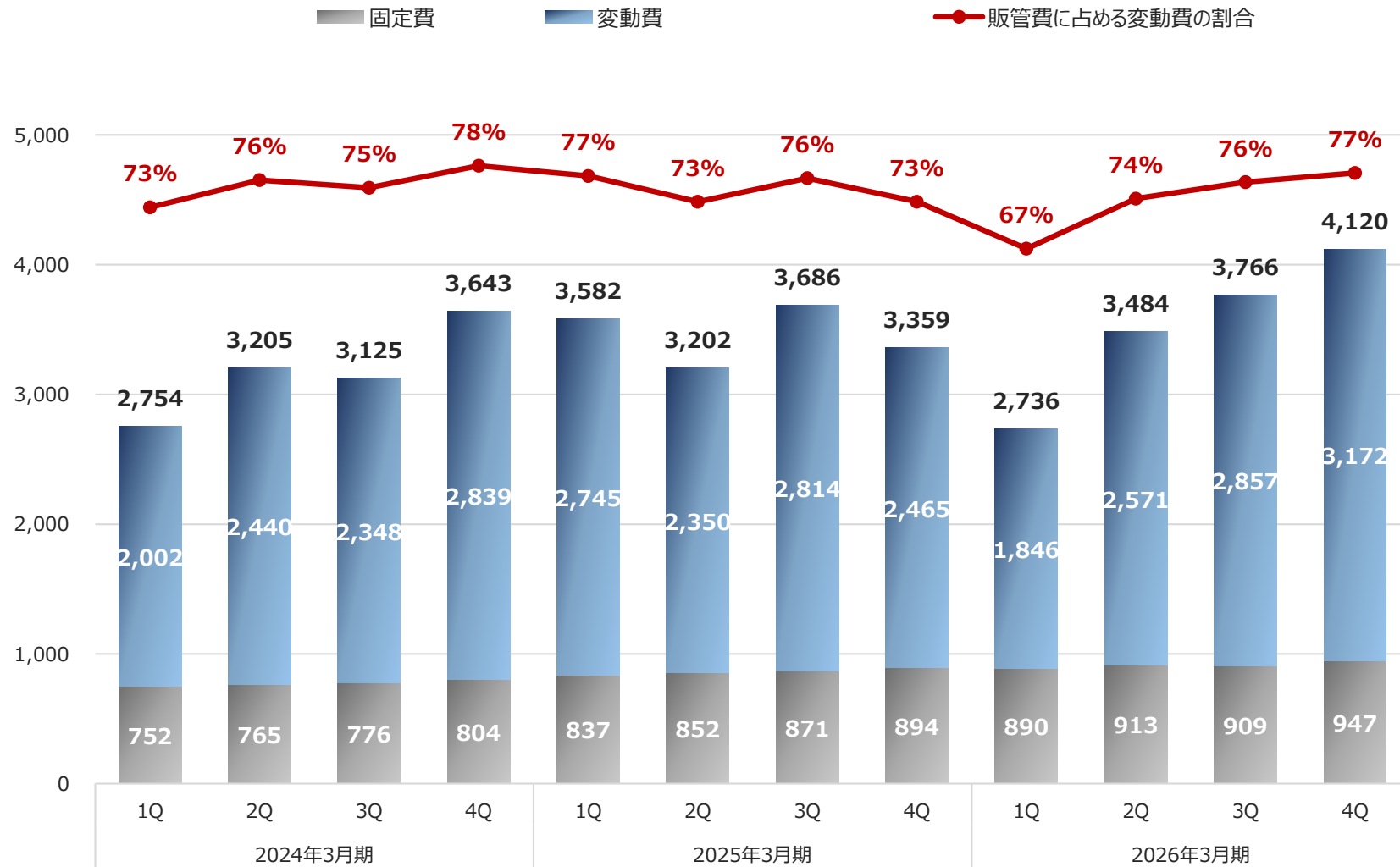


	2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
入金	290	392	382	388	1,398	456	374	346	431	1,609	383	410	493	560	1,848
入庫	45	45	42	45	177	69	50	59	73	251	53	43	76	49	222
入金庫	366	437	370	434	1,577	526	424	405	504	1,860	436	453	570	610	2,070
出金	△175	△194	△147	△249	△765	△151	△185	△220	△197	△763	△196	△292	△264	△230	△983
出庫	△20	△32	△34	△36	△122	△64	△35	△42	△34	△176	△33	△85	△80	△102	△302
出金庫	△196	△226	△182	△285	△889	△215	△220	△262	△231	△930	△229	△377	△344	△333	△1285
入出金庫額	139	210	188	148	685	310	203	143	273	930	207	75	225	277	784

## ◆ 販管費及び販管費に占める変動費の割合

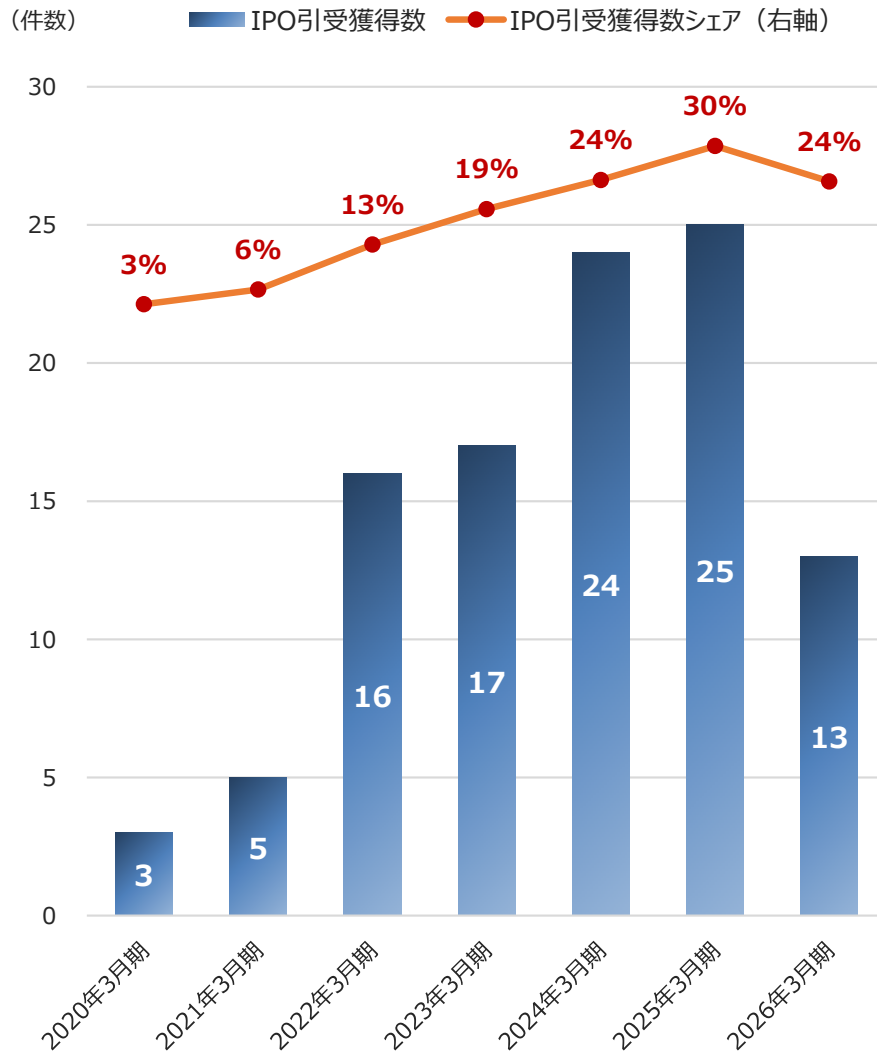
- ✓ 当第4四半期における当社の販管費は4,120百万円となり、販管費に占める変動費の割合は77%と引き続き高水準を維持しており、安定的な経営構造の確立を図っている。

(百万円)



## ◆IPO市場への取り組み

✓ 当期は市場全体で54社が新規株式公開し、うち当社獲得件数は13社、当社シェアについても24%となった。



順位	引受会社	件数	シェア
1	SBI	52	96%
2	楽天	37	69%
2	松井	37	69%
4	マネックス	30	56%
5	岡三	29	54%
6	野村	27	50%
6	みずほ	27	50%
8	岩井コスモ	25	46%
9	東海東京	23	43%
10	大和	22	41%
11	日興	21	39%
12	丸三	18	33%
13	極東	14	26%
14	あかつき	13	24%
14	三菱UFJ	13	24%
14	水戸	13	24%
17	東洋	10	19%

※日本取引所グループ公表資料をもとに当社作成

#### <免責事項>

本資料に記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料に記載されたデータには、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。

本資料は、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に際しては、投資家ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。

#### <問い合わせ先>

株式会社あかつき本社 経営管理部